

項 目	所 見
生涯学習課 生涯学習の 充実	各種講座が町民のニーズを把握し、市川アカデミー気軽に行講座、出前講座など特色ある講座として開設され、多くの町民が参加している。 公民館活動においては、合併後、旧町の活動体制に差が生じており、今後は、格差解消に努め全町統一した活動が期待される。 青少年の育成においては、町民会議を中心に健全育成に努めている。 図書館事業は、町内3館の図書貸出冊数も年々増加し、それぞれの図書館の連携が図られている。さらに生涯学習の拠点として学習の場を設けるなど、今後の課題がある。
生涯スポー ツの振興	数多くの体育施設を町民が利用しやすい維持管理を行っているが、さらに町民が快適に利用できるよう管理体制を整える必要がある。 町民誰もが気軽にスポーツを楽しみ、健康的な体を作るために開催された事業は、町民のスポーツ振興の充実が図られている。 総合型地域スポーツクラブ設立に向けて、学習会を開催し準備を進めており、目標が達成できるよう期待する。
文化・芸術の 振興	町内に多数ある文化財は、保護・支援をさらに強化し、歴史と文化を伝承するため、町民の文化財に対する意識の高揚を図ることを期待する。 歴史ある紙の町市川三郷町にふさわしい『大門碑林書道展』『三珠文殊県下書道展』は多くの作品応募があり、内容も充実しており、文字文化の教育も行われている。
体験学習の 推進	学校や地区公民館などを中心に、農業体験、地場産業体験が行われ、親子のふれあう時間を大切にして、町の伝統産業や特色ある農業に対する理解を促すプログラムが進められている。町全体として、引き続き推進を求める。
教育総務課 国際交流の 推進	姉妹都市とは相互訪問を行っており、本年度も17名を派遣して交流を深めた。町民の英語への関心は高く、英会話教室は延べ1,648名が受講した。 国際交流協会への助成・支援は充実しているが、会費の納入がない会員がみられるので、名簿整理等の対応が望ましい。また、町民への地域理解という点では、生涯学習課又は協会との連携の中で講座等の開設が望まれる。
学校教育の 充実	確かな学力を身に付け、心豊かな児童生徒の育成を図るため町単教諭、特別支援員、ALT、通訳支援員、カウンセラー、司書、調理員などの配置や増員を図り、多くの支援を行っている。文科省全国学力・学習状況調査での正答率は全国及び県平均を上回っている。これは各学校が教育課程の完全実施と指導形態の工夫、改善が図られていると考えられる。 不登校児童・生徒数は県平均並みに存在し、今後の課題である。 心身の健康管理・給食における安全、安心面での取組みなどの課題がある。 学校とは連携を密にし、教育の諸条件整備及び安心、安全に努めた。
教育委員会 及び事務局	会議はオープンに議論し、改善に努めている。 各種団体とも密接に連携し職務を行っている。 学校や地域と連携し、適格な施設運営管理に努めている。